

# 馬渡島周辺に洋上風力発電

## 東京の企業、65基計画

佐賀県唐津市の馬渡島と長崎県平戸市の的大山大島周辺の海に、大規模な洋上風力発電を設置する計画があることが分かった。東京都の民間企業が計画し、最大65基の風力発電機を設け、総発電出力は61万7500kwを見込む。国内では実用例が少ない、海底に固定しない「浮体式」の発電機も導入する見通し。今後は2028年の運転開始を目標に、工事に必要な環境影響評価(アセスメント)への対応を進める。



唐津市の馬渡島と長崎県平戸市の周辺の海に、大規模な洋上風力発電を整備する計画について説明があった佐賀県環境影響評価審査会。県庁

24日に県庁であった県環境影響評価審査会で、実質的な事業主体である再生可能エネルギーの発電事業会社「INFLEX」(インフラックス、東京都)が計画の概要を説明した。

洋上風力発電機を設置する想定区域は、馬渡島と的大山大島の周辺と中間の海域約1万9546畝。平均風速が毎秒7・63mと状況がよく、水深80m以内の比較的浅い区域を抽出した。東松浦郡玄海町の絶景ポイント「浜野浦の棚田」からの

## 県に説明 「玄海・浜野浦の景観は配慮」

景観にも配慮するとう。

1基当たり9500、1万2千kwの風力発電機を最大65基設置する計画で、水深50m以内は海底に固定する「着床式」、50m以上は「浮体式」を採用する予定。アセスを経て、25年の着工、28年の運転開始を目指す。総事業費は4200〜4500億円。

今後は地元との調整を進め、渡り鳥など生態系への影響も詳しく調べる。インフラックスの担当者は「事業による環境への影響はあると思われるが、風車の配置などを考慮し、できる限り低減する。地元にも丁寧に説明したい」と話す。

県内では同じ会社が唐津市の神集島近海に、大規模な洋上風力発電設備を設置する計画があり、別の事業者も唐津市肥前町の向島沿岸に数基の洋上風力発電を設置する計画がある。(大橋諒)